

福生市公共施設等総合管理計画と個別施設計画

1. 公共施設等総合管理計画の目的

公共施設等の老朽化が進行し、総人口の減少や人口構成の変化等により公共施設等のニーズも変化していく中、今後の公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うため、基本的な考え方（基本方針）をまとめたもの。

2. 福生市の状況

(1) 公共施設の状況

人口一人当たりの行政財産建物延床面積（2.37㎡）は、都内26市（1.96㎡）に比べ約**20.9%高い水準**。

(2) 人口動向

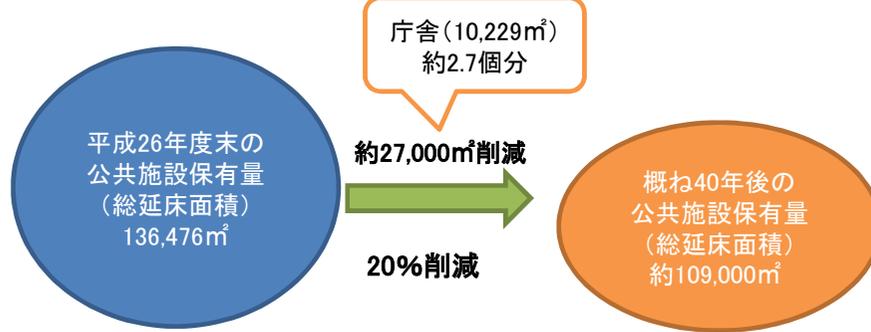
生産年齢人口の減少と老年人口の増加により高齢化の進展が見込まれ、市税収入の減少や扶助費等の増加など、財政状況はより厳しくなると予測。

(3) 財政の現況と課題

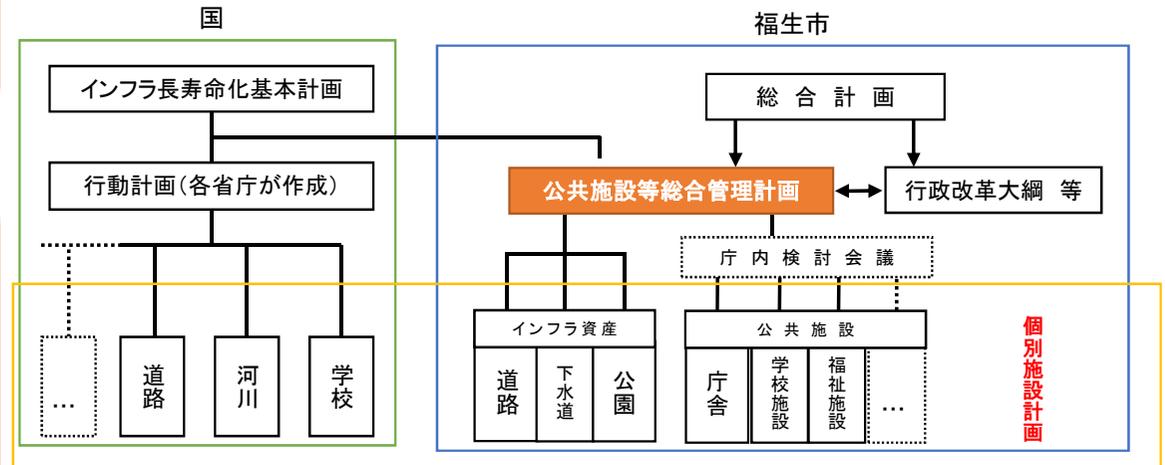
公共施設を現状のまま維持した場合、これまでと比較して**毎年7.9億円（約2.2倍）の支出増**が見込まれる。
インフラ資産まで含めると毎年12.2億円（約2.2倍）の支出増が見込まれる。

3. 計画目標

公共施設については「**総量抑制**」を原則とし、平成26年度末の公共施設保有量（総延床面積）を概ね40年間で**20%（約27,000㎡）削減**を目指す。



計画の位置付け



公共施設等総合管理計画
【施設マネジメントの基本方針】

施設管理（点検・診断、維持管理、安全確保、長寿命化、複合化・集約化）に関する基本的な方針 施設類型ごとの基本的な方針

市内検討会議

○再配置基本方針の検討

40年後を見据えた公共施設の配置の考え方、方向性

○施設評価
老朽度等の定量評価と定性評価

○財政負担の平準化シミュレーション

個別施設計画
【令和2年度までに策定】

4. 個別施設計画のイメージ

名称	建物の方向性	機能の方向性	直近10年の取組み	説明
○○会館	長寿命化	継続	改修	
◆◆館	性能改善	検討	検討	**館との複合化に向け検討
▲▲センター	廃止	集約・複合	—	**館更新時に集約